



七部門171点の作品が展示された第10回加茂菊花展 (冬鳥越スキーガーデン)

主な内容

- 「新潟県立加茂病院整備基本計画」に
意見書を提出いたしました…………… 3 9
- 友好都市・大島町の台風被害状況…………… 10 11
- 秋の叙勲…………… 12
- 第10回 加茂菊花展…………… 13 14
- 第46回 市展受賞作品紹介…………… 15 20
- グループ登場、歯の健康…………… 20 21
- 加茂の風土記…………… 22

加茂病院は加茂市の宝 加茂病院を盛り立てましょう
「美人の湯」も加茂市の宝 美人の湯をよろしく願ひいたします

南相馬市に雪椿の花を咲かそう＊募金のお願い

加茂市の皆様

私は、木幡史子と申します。福島県南相馬市に住所を置き、平成23年3月11日以降、現在も諸事情により避難の生活を続けています。

平成23年3月17日より新潟県加茂市に避難者として居住しながら、特別何か目標を持つこともなく過ごしている事に凄く心が苦しくなる日々が続きました。

そんな中でも加茂市での生活では、一番始めの避難先七谷地区に畑を借り今年で3年目となります。地主さんの野菜作りのご指導を受け、美味しい野菜が収穫でき、我が家では十分足り、郡山・福島市から自主避難のママと子供たちの家族へも分けてあげています。

また、加茂市より平成24年2月から市の中心地にあるコミュニティセンターで、福島交流サロンが第2・4水曜日開かれ、年に3～4回の催しも開いてもらっております。

市在住の各方面の方々より、サロンにご支援があった事で交流が深まり、そのご縁で平成25年7月27日～28日の両日、被災地視察を兼ね相馬野馬追い祭に、加茂市民9名の方々をお連れする事が出来ました。

被災地を見て初めて、津波と原発事故の悲惨さが、いかに甚大な事だったかを感じて頂き、又行って来たからこそ地理もわかり、南相馬が身近に感じると話されていきました。

今新潟県に、そして加茂市に住まわせて頂き、新潟県人の温かさや思いやりの深さを痛切に感じます。そして、すべてに係わって下さる方々に感謝です。

新潟県は多種多様な災害に遭い、他からの支援を受けた事へ感謝されているからこそ、今回の福島で起きた事故を自分の事のように思い温かく手を差し伸べて下さっているのだと私は感じています。新潟県には、自然豊かな恵みが一杯です。何と言っても『田んぼ』が美しい。南相馬には、震災後『田んぼ』が無いんですよ!!

私の福島の家から震災以前は、海が見えないはずなのに、今は萱浜地区の集落が跡形もなく、海の波しぶきが見えます。慰霊碑が、海に向かって何かを語っているかのように見えます。

く少しでも何かの足しに、少しでも復興の兆しに近づいてくれば幸いとのおいで、

私の故郷、南相馬市の各地に雪椿の花を咲かせたい>

そんな私の考えに、趣旨に賛同して頂けたらと願っています。

つきましては、雪椿募金と名付け、送る側としての取り組みをお願いしたいと思っております。尚、今後、数か月をかけて、双方で植樹場所や実施日等々、細やかな点について打ち合わせを行って行きたいと考えていますので、宜しくお願い申し上げます。

植樹予定日・・・平成26年4月中旬頃 植樹本数（雪椿苗木）・・・300本予定

発起人 木幡史子

募金箱は 加茂市役所1階市民ロビー、公民館、各コミュニティセンター、市民福祉交流センター 加茂美人の湯 にあります。

問い合わせ先 木幡史子さん（☎47-1332）へ

加茂病院全面改築等検討委員会が策定した「新潟県立加茂病院整備基本計画」に対し、意見書を提出いたしました。

加茂市長 小池 清彦

泉田知事さんが任命された加一・「加茂病院全面改築等検討委員会」は、加茂市民を代表する加茂市長が入っておらず、著しい欠陥委員会であるといわざるをえない。

この計画に対し、私は、十一月七日に意見書を知事宛に提出二・従って、当委員会が策定した「新潟県立加茂病院整備基本計画」は、著しく妥当性を

意見書の概要は、次のとおりです。欠くものであり、その内容は、

極めて不十分かつ不適切なものとなつてゐる。

三・当基本計画は、医師の都合を中心として策定されたものであり、市民・住民の幸福を中心として策定されたものは、言い難い内容をたくさん有するものとなつてゐる。

四・麻酔科を置かないことは、甚だ不適切である。

五・十四科を基本とするとしてゐるにもかかわらず、神経内

科、皮膚科及び放射線科には、常勤医師を置かないことになつており、甚だ不適切なことである。

六・現在休止中の小児科、脳神経外科、外来のみの産婦人科、外来のみの眼科、外来のみの泌尿器科については、常勤医師を配置するよう「努力します。」となつており、単なる努力目標にしかなつていない。

七・肝心の加茂市の三つの特別養護老人ホームに対する往診

の支援ができる文言を揚げていない。

八・遠藤委員長は、五十嵐加茂市医師会長に対し、加茂市医師会が加茂市の三つの特別養護老人ホームの往診を担当できるかどうかが問うたそうであるが、五十嵐加茂市医師会長は、それはできないと答えたそうである。(五十嵐医師会長は、その後週一回の往診を検討するとして、現在検討中でありませぬ。)

九・泉田知事さんにおかれましては、この基本計画に大修正を加えられた上で、市民・住民の幸せのために、立派な施設・機器の下で、立派な運用を行ってくださいますよう、衷心よりお願い申し上げます。

意見書の全文を次に掲げ、そのあとに、この検討委員会の名簿を掲げます。

総 第 1078 号

平成25年11月 7日

新潟県知事 泉 田 裕 彦 様

加茂市長 小 池 清 彦

加茂病院全面改築等検討委員会が策定した「新潟県立
加茂病院整備基本計画」に対する意見書

標記について、下記のとおり意見書を提出いたします。
何とぞよろしく御高配下さいますようお願い申し上げます。

記

- 1 このたび「新潟県立加茂病院整備基本計画」の策定を行った「加茂病院
全面改築等検討委員会」には、加茂市にあつては、加茂市医師会長のみが
入っており、加茂市長は入っておりません。医師会長としては、三条市医
師会長まで入っているのに、加茂市政を担当し、加茂市民を代表する加茂
市長が入っていないのは、著しい片手落ちであり、当委員会は、著しい欠
陥委員会であるといわざるをえません。
- 2 従つて、当委員会が策定した「新潟県立加茂病院整備基本計画」は、著
しく妥当性を欠くものであり、現実にその内容は、極めて不十分かつ不適
切なものとなっております。

- 3 即ち、当基本計画は、医師の都合を中心として策定されたものであり、市民・住民の幸福を中心として策定されたものとは、言い難い内容をたくさん有するものとなっております。
- 4 当基本計画は、そもそも麻酔科を置かないことになっており、巨額の金をかけて、これだけ立派な病院をつくりながら、甚だ不適切なことであり、加茂病院は欠陥病院となります。
- 5 当基本計画は、14科を基本とするとしているにもかかわらず、神経内科、皮膚科及び放射線科には、常勤医師を置かないことになっており、巨額の金をかけて、これだけ立派な病院をつくりながら、これまた甚だ不適切なことであり、加茂病院は欠陥病院となります。また、費用対効果も低いことになり、大問題であります。
- 6 現在休止中の小児科、脳神経外科、外来のみの産婦人科、眼科、泌尿器科については、常勤医師を配置するよう「努力します。」となっております、単なる努力目標にしかになっておりません。私が確かめたところでは、当委員会では、あまり力を入れず、単なる「努力目標」にすることにしたそうであります。これでは、これらの科に常勤医師が置かれる保証は全くなく、ほとんど常勤医師が配置されなくなる公算が大であります。この結果、巨額の金をかけて、これだけ立派な病院をつくりながら、費用対効果の極めて低い、大欠陥病院ができる公算が極めて大であります。
- 7 当基本計画では、「地域に開かれた病院」と「地域連携機能」と「在宅医療の充実」と「医療連携」と「保健・介護・福祉との連携」を掲げながら、肝心の加茂市の3つの特別養護老人ホームに対する往診の支援ができる文言を掲げておりません。
- 8 3つの特別養護老人ホームに対し、週1回午後の診察をお願いする加茂

市長の要望について、遠藤委員長は、五十嵐加茂市医師会長に対し、加茂市医師会が加茂市の3つの特別養護老人ホームの往診を担当できるかどうか問うたそうであります。これに対して、五十嵐加茂市医師会長は、それはできないと答えたそうであります。これを受けて、遠藤委員長は、この問題に触れないことにしたそうであります。

9 加茂市以外からの患者が圧倒的に多い三条市にある応急診療所の診療に多大の力を投入しておきながら、加茂市において最も重要な3つの特別養護老人ホームの週1回午後の診察さえできないとする五十嵐加茂市医師会長の発言は、極めて無責任なものであり、言語道断であります。また、これを聞いて、この問題に触れないことにした遠藤委員長の行為も甚だ無責任なものであり、この委員会の欠陥を露呈したものといわざるを得ません。

10 泉田知事さんにおかれましては、折角立派な御英断を以って県立加茂病院の全面建て替えを行うこととされたにもかかわらず、策定された「新潟県立加茂病院整備基本計画」が、このように大きな問題点を抱えたものであることに思いを致され、この基本計画に大修正を加えられた上で、市民・住民の幸せのために、立派な施設・器機の下で、立派な運用を行って下さいますよう衷心よりお願い申し上げます。

「加茂病院全面改築等検討委員会」委員名簿

区 分	氏 名	備考（所属団体等）
有識者（2名）	えんどう なおと	○委員長
	遠藤 直人	新潟大学大学院医歯学総合研究科教授 （機能再建医学講座 整形外科分野）
	あきやま けいこ	前 新潟県立新発田病院附属 看護専門学校教頭
	秋山 啓子	
地元保健・医療機関 （3名）	いけだ みのる	三条市医師会長
	池田 稔	
	いからし たかお	加茂市医師会長
	五十嵐 隆夫	
	むとう けんすけ	三条保健所長
	武藤 謙介	
病院関係者（2名）	たかはし ほうゆう	新潟県立加茂病院長
	高橋 芳右	
	ささき みのる	新潟県病院局次長
	佐々木 稔	
県看護師養成（1名）	やまだ ふみこ	新潟県福祉保健部 医師・看護職員確保対策課長
	山田 富美子	



台風26号

豪雨被害を受けた

友好都市・大島町

加茂市の友好都市大島町が、台風二十六号の豪雨による土石流が発生し、大変な被害を受けました。

台風二十六号は、十月十五日に伊豆大島付近を通過し、記録的な豪雨をもたらしました。そして、十六日未明に島の中心部である元町地区で大規模な土石流が発生し、三十五名の尊い人命が奪われ、さらに行方不明四名という被害となりました。島外から消防庁、警視庁、自衛隊など約千六百名が駆け付け、被災者の救助や不明者の捜索にあたりました。元町地区以外でも北の山地区、岡田地区、泉津地区でも家屋被害があり復旧に向けた作業が現在も行われています。

大島町とは、昭和四十三年四月にツバキが取り持つ縁として友好都市の盟約を交わしてから毎年加茂市の雪椿ま

	全 壊	大規模半壊	半 壊	一部損壊	人的被害	
建物被害	133	24	50	178	死者	35名
					行方不明	4名

建物被害の件数の中には、住宅、事務所、倉庫が含まれます。



つり、大島町の椿まつりをお互いに訪問し、交流を続けています。

昭和四十四年の加茂川水害では、御見舞をいただき、昭和六十一年の大島三原山噴火による全島民避難では市民の皆さんから寄せられた義援金をお届けしました。

被害が明らかになると、十月十六日夕方、小池清彦加茂市長から川島理史大島町長へ御見舞を申し上げ支援を申し出て、加茂市ではいつでも人員・物資等の支援を大島町に派遣する準備をいたしました。

さらに加茂市では、義援金の募金を行っているところでもあります。

写真：大島町役場提供

秋の叙勲・褒章

秋の叙勲・褒章において加茂市から三名の方が受章され、皆さんからその足跡をうかがいました。

瑞宝単光章（消防功労）



丸山朝雄さん
(田中新田・79歳)

丸山さんは、昭和三十年に消防団入団。須田地区の分団長を務められるまで三十三年間にわたり、消防団活動をされました。受章の知らせを受けたとき、「私なんかがいただけのものなのだろうか」と思ったそうです。

須田地区では、火災は少なかったそうですが、四十二・四十四年の加茂川水害では、「船を持って市街地へ」という指令に「そこまでいけるのか」と思ったが加茂中学校まで消防車で行けたこと、他の分団や消防署員の捜索活動を、今でも忘れるこ

とができない。また、水があふれた街中を自動車や冷蔵庫、洗たく機が流れてくるのを見て、自然災害の恐ろしさを感じたそうです。

農家の丸山さんは、果樹出荷の最盛期に出動することもあり、家族や近所の協力がなければ「消防団を続けることも、この受章もなかった」とおっしゃいます。

現在、市の文化財調査審議会委員を務め、郷土史の研究・整理に忙しい毎日ですと話されました。

瑞宝単光章（消防功労）



長一さん
(長福寺・65歳)

捧さんは、昭和四十二年、消防署に採用され四十二年間、消防職として務めてこられました。受章については、火事や災害現場では、一人ひとりの力を合わせることに機材を使いこなすことが大切。だから「みんなでいただいたもの」、そして「支えてくれた家族や近所の方がいなけ

黄綬褒章（業務精励）



小柳直太郎さん
(小乙・63歳)

小柳さんは、市内で創業した小柳建設株式会社の二代目社長として四十年以上にわたり、土木・建設事業に携わっています。受章の知らせに「大変光栄なことと思うと同時に、人として正しい生き方・正しい行動を求められる大きな責任を感じました」。そして「大勢の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。」と話されました。

ればこの受章はありません」とおっしゃいます。

採用された年の加茂川水害では、消防車や機材を加茂山に避難させることが最初の仕事だったそうです。四十四年の水害でも、上条の加茂川沿いにできた新しい消防署の一階から、無線機や資機材を二階に上げたことが思い出されます。当時は、自家用車が普及し始めたころで、流さ

会社の事業内容は一般的に知られていますが、災害現場など救助活動のすぐ脇で復旧や被害防止の作業が行われていることは、あまり知られていないそうです。その救助活動の一端を担う場面や、新しい技術や機材に触れる機会があることを多くの若い人に知ってもらいたいとおっしゃいます。また、昭和六十年代に湖や河川をきれいにするのも建設業の一環ではないかと考え、他社に先駆け浚渫の技術を確立し、現在では県内はもとより全国各地で実績を重ねています。

趣味は、神社仏閣巡り。「現場近くの社殿に安全を祈るうち、趣味になったのかな」とお話しいただきました。

れる車を見て「もったいない」という気持ちと「あんな重いものも簡単に流してしまう」災害の恐怖を感じたそうです。

今は「退職してからきれいにしよう」と思っていた家の周囲や畑の手入れに忙しいそうで、「退職して四年ですが、やることは山ほどある」ということです。



第10回加茂菊花展

～菊香る 越後路～

七部門に171点

県内の菊愛好家の皆さんが育てた作品が、十一月六日から二十四日まで冬鳥越スキーガーデン特設会場に展示されました。駐車場側にも設けられた展示台には各部門の作品と、今年市長賞を獲得した懸崖の作品が展示されました。

表彰式で小池加茂市長は「菊を愛する人は心があたたかい人ばかりです。近郷の大勢の皆さんから鑑賞していただいていた嬉しいです。」とあいさつしました。作品を審査された県菊花連盟の武田三郎さんからは「夏の猛暑と九月の雨で苦労されたと思いますが、しっかりとした花が造られています。」と講評をいただきました。

会場の冬鳥越スキーガーデンには、紅葉見物など途中で駐車場の展示台に引かれて、来場する方々もおり、いろいろな種類の菊が楽しめるという感想が聞きました。今年の加茂菊花展の総合賞および各部門に入賞された皆さんは次のとおりです。(敬称略)

総合賞

市長賞 懸崖「山瑞の雲」

小林戦平 (新潟市秋葉区)

二等賞 木付け「笹ノ雪」

安中栄五郎 (上下条)



市長賞：小林戦平さんの懸崖「山瑞の雲」

三等賞 中菊「弥彦里」

大竹与市 (新潟市南区)

部門賞

■管物三幹：優秀賞「聖光金波」

大竹与市・一位「泉郷富水」成澤

一男 (新潟市秋葉区) ・二位「泉

郷光栄」青木丞輔 (燕市) ・三位

「天女の名所」高橋輝継 (北潟、

「天女の名所」石倉広茂 (新潟市

南区)

■厚物三幹：優秀賞「国華金山」

大竹与市・一位「大平の銀峰」関

根文雄 (新潟市南区) ・二位「大

平銀峰」大竹与市・三位「国華金

山」大竹与市、「精興右近」大竹

与市、「国華金山」大竹与市、「精



加茂郷菊花展

加茂郷菊花同好会は、毎年青海



神社参道で菊花展を開催しています。今年は十月三十日から十一月四日までの六日間、二棟のビニールハウスを建て、約二百点を展示しました。期間中は、市展の開催もあり、大勢の方がいろいろな菊の花と香を楽しみました。作品の一部は、引き続き、冬鳥越スキーガーデンで開催された加茂菊花展でも展示されました。



二等賞：安中栄五郎さんの木付け「笹ノ雪」

興右近「牛田勝（田上町）」
 ■懸崖：優秀賞「山瑞の雲」小林戦平・一位「輝」桜井清士（新潟市南区）・二位「輝」大竹与市
 ■七幹立：優秀賞「国華金山」成澤一男・一位「日舞」牛田勝・二位「国華金山」大竹与市
 ■中菊：優秀賞「弥彦里」大竹与市・一位「弥彦作」大竹与市・二位「江戸黄八丈」成澤一男・三位「乱れ糸」成澤一男、「宮ノ松」大竹与市
 ■だるま・福助・切花：優秀賞「泉郷富水」成澤一男・一位「国



三等賞：大竹与市さんの中菊「弥彦里」



だるま：優秀賞「泉郷富水」（成澤一男さん）

華金山」大竹与市・二位「国華金山」大竹与市・三位「彩胡秘宝」高橋輝継、「金山」牛田勝、「聖光金波」大竹与市
 ■木付け：優秀賞「笹ノ雪」安中栄五郎・一位「阪神の誉」安中栄五郎・二位「黄妙」安中栄五郎



七幹立：優秀賞「国華金山」（成澤一男さん）



厚物三幹：優秀賞「国華金山」（大竹与市さん）



管物三幹：優秀賞「聖光金波」（大竹与市さん）

第46回 市展

市展賞受賞作品

11月2日から6日まで、市民体育館で開催された市展（加茂市美術展）には、おおぜいの皆様から鑑賞していただきました。今年の市展で市展賞を受賞された作品を紹介します。



洋画

「三段紅葉」
皆川 孝一 さん



日本画

「祠」
中澤 和子 さん



工芸

「XⅢ-I」
石澤 啓一 さん

写真

「これなんだろう」
捧文一さん



書道

「蘇軾詩」
真野 菊枝 さん



※今回、彫刻部門に市展賞はありませんでした。

第46回 市展

新潟日報美術振興賞



洋画

「静物」

滝沢 良子 さん



日本画

「山狭静韻」

田浦 清堂 さん



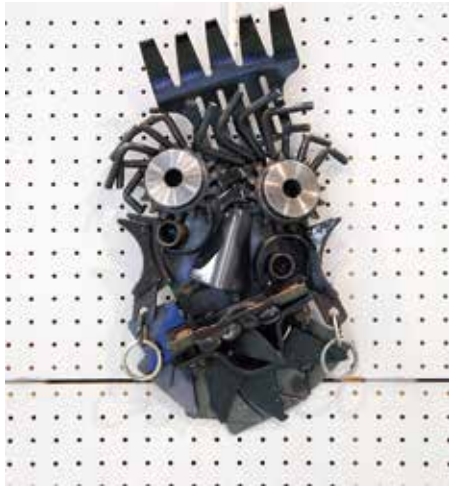
彫刻

「般若」

青柳 昭三 さん

「錯乱」
天摩 忍仙 さん

工芸



書道

「良寛の歌」

佐藤 芳春 さん



写真

「杜の輝き」

三浦 二郎 さん

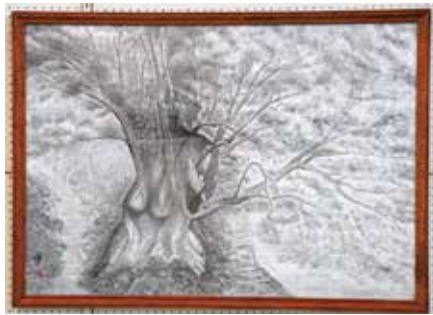
第46回 市展

奨励賞受賞作品

日本画「清(きよらか)」
富樫 貞子 さん



日本画「八幡神社 女神の宿る木」 中名林 實 さん



工芸「象嵌泥塗彩文花器」
種橋 竹夫 さん



洋画「希望」
小林 喜美子 さん



洋画「写精」 渡辺 丈夫 さん



工芸「望郷」
泉田 はるみ さん



工芸「紅の華(革染)」
乙川 テイ さん



書道「殷選詩」 下田 彩水 さん



書道「長塚節「土」より」 川島 松一 さん



書道「臨本阿弥切」 土田 芳苑 さん



写真「杜甫詩」 田辺 美保さん



書道「常建詩」 小倉 美千さん



写真「時間のいたずら」
小柳 典子さん



写真「朝光の森」
外石 智慧子さん



写真「微笑」
中野 恒之さん



写真「青池」
鈴木 與一郎さん

第46回 市展

振興賞受賞作品



書道「臨魏靈藏造像記」
小林 多恵さん



書道「臨建中告身帖」
川口 茜さん



書道「登攀」
栢森 洋輔さん

第四十六回市展（加茂市美術展）の各部門で市展賞を受賞された皆さんから受賞された感想や作品についてのコメントをいただきましたのでご紹介します。

日本画

「祠」

中澤和子さん（寿町）

このたびは、市展賞をいただきまして、身に余ることと感謝しております。

市展のスタッフの方から「入賞されました」と連絡がありまして、まさか、私が間違いではないかと信じられない思いでした。

今回は市展に出品することを目



標に取り組んできました。

私達の水墨画教室では、お二人の先生方のご指導のもと、月二回の教室は、皆さん和気あいあいと楽しみながらやっています。

この賞を励みに努力を重ねてまいります。ありがとうございます。

心より感謝申し上げます。

洋画

「三段紅葉」

皆川孝一さん（第一区）

栄えある市展賞をいただき、夢のようです。

登山に魅せられて半世紀になろうとします。よって描く絵も、ほとんどが山の入った四季折々の風景画です。

このたび入賞した作品も、湯沢にある別名「上越のマッターホルン」が「三段紅葉」で大源太湖に映える錦秋の絵です。紅葉の紅と、湖面に映る山などの表現が難しく、

口うるさい山の仲間達の意見で、あの手この手で修正を重ね、何とか出展に間に合いました。

絵を描くことは子供の頃から好きで、小学一年の時、当時あった優秀室に飾られたことを憶えています。

最近では、小学校の恩師とメール交換で指導を頂いています。本格的に描いたのは、退職後に

「恥を描く」つもりで始め、周りからは「凶画」と言われながら、自然の美しさを精一杯気持ちを入れて描く事で、市展・県展などに入賞、入選できるまでになりました。

今回、いただいた賞を励みに、自然美を、今まで以上に表現ができるよう、制作に励みたいと思います。

工芸

「XIII-I」

石澤啓一さん（上下条）

陶芸を始めて間もない頃に一回だけ出品したことがあります。市展は他の公募展と時期が重なっており、仕事が忙しくなったことから、その後は市展への出品を断念していました。会社を退職した昨

年から時間に余裕ができ、市展に再挑戦することが可能になりました。

再挑戦二年目の今年に市展賞を受賞できましたことを、大変喜んでおります。

粘土は、乾燥や焼成することで縮小しますので、その過程でひび割れすることがあります。とりわけ角ばった形状の作品は割れる確率が高くなります。

力強い中に繊細さを備えた作品を創りたい思いから、今回の作品は割れることを覚悟で直線を多用しましたが、無事出品することができました。

今後も陶芸を楽しみながら、一層の努力を重ねていきたいと思えます。

書道

「蘇軾詩」

真野菊枝さん（新町二）

このたび市展賞をいただき、驚きと同時に光栄なことだと思っております。

賞には無縁な私とあっておりませんでしたので、連絡をいただいた際、「本当ですか」と信じられませ

新潟日報美術振興賞

- 【日本画】「山峡静韻」田浦清堂（若宮町1）
- 【洋画】「静物」滝沢良子（学校町）
- 【彫刻】「般若」青柳昭三（早田）
- 【工芸】「錯乱」天摩忍仙（下興屋向）
- 【書道】「良寛の歌」佐藤芳春（寿町）
- 【写真】「杜の輝き」三浦二郎（五番町）

奨励賞

- 【日本画】「清（きよらか）」富樫貞子（寿町）
「八幡神社 女神の宿る木」中名林實（矢立）
- 【洋画】「写精」渡辺丈夫（幸町1）
「希望」小林喜美子（田上町）
- 【工芸】「望郷」泉田はるみ（旭町）
「象嵌泥塗彩文花器」種橋竹夫（寿町）
「紅の華（革染）」乙川テイ（黒水中区）
- 【書道】「殷遥詩」下田彩水（幸町1）
「常建詩」小倉美千（青海町2）
「長塚節「土」より」川島松一（大郷町2）
「杜甫詩」田辺美保（番田）
「臨本阿弥切」土田芳苑（岡ノ町）
- 【写真】「時間のいたずら」小柳典子（八幡3）
「朝光の森」外石智慧子（前須田）
「青池」鈴木與一郎（新町2）
「微笑」中野恒之（青海町2）

振興賞

- 【書道】「臨魏靈藏造像記」小林多恵（加茂高校）
「臨建中告身帖」川口茜（加茂高校）
「登攀」萱森洋輔（三条高校）

写真

捧 文一さん(第二十五区)

市展賞ということで、家族全員がうれしく思っております。あり

でした。ご指導を賜りました中山先生に感謝しております。これからも頑張つて続けていきたいと思っております。ありがとうございます。

がとうございました。この写真は、生まれて六カ月になる孫娘のハーフバースデーのお祝いをした時に撮りました。ローソクの光だけで、周りを暗くし、親子のようすを撮影した写真です。親子の表情がでて、良い写真になりました。今後、人間の表情のようすを撮っていききたいと思います。

総体結果



バレーボール

期日 十一月三日

会場 加茂中学校体育館

中学生女子の部

- ① 葵中学校 ② 田上中学校 ③ 七谷中学校



駅伝競走

期日 十一月三日

会場 陸上競技場周辺周回コース

3区間 6.6km

- ▼ 中学生女子の部 ① 田上中学校 Z ② 加茂中学校 A ③ 加茂中学校 B
- 5区間 11km
- ▼ 小学生男子の部 ① ドッジボールス



卓球

期日 十一月十日

会場 下条体育センター

- ポーツ少年団 A 45分 4秒大会新 ② 加茂 Jr 陸上 B ③ 加茂 Jr 陸上 A ▼ 小学生女子の部 ① 加茂 Jr 陸上 ③ 彩ドッジク
- イン ▼ 中学生男子の部 ① 田上中学校 A 38分 21秒大会新 ② 葵中学校 A ③ 葵中学校 B ▼ 高校一般男子の部 ① F un Run n e r s ② サクセス ③ 加茂 スキークラブ シニア チーム

個人戦

- ▼ 女子の部 ① 岩瀬彩花（若宮中） ② 本多愛子（加茂卓友会） ③ 田中優里奈（若宮中）、高野千歌子（若宮中） ▼ 中学生男子の部 ① 樋口陸（須田中） ② 美原一熙（須田中） ③ 小野大輝（須田中）、村上廉（須田中） ▼ 高校一般男子の部 ① 久保天（加茂卓道会） ② 松沢和彦（加茂卓球クラブ） ③ 桑原英明（加茂卓道会）、長沢真（加茂卓球クラブ）

団体戦

- ▼ 女子の部 ① 加茂卓友会 A ② 若宮中学校 A ▼ 中学生男子の部 ① 須田中学校 ② 葵中学校 A ③ 加茂中学校 A、若宮中学校 ▼ 高校一般男子の部 ① 加茂卓球クラブ ② 加茂卓道会 A ③ 加茂卓道会 B、加茂卓道会 C



バスケットボール

期日 十一月二十四日

会場 加茂中学校体育館（中学生男子の部）、勤労者体育センター（高校一般男子の部）

- 中学生男子の部
- ① 葵中学校 A ② 加茂中学校 A
- 高校一般男子の部
- ① L o o p s ② 紅桜 ③ A I R T I M E、バットマン

グループ登場

みんな仲間

新潟合気会加茂道場は、下条体育センターで稽古をしています。

稽古は、合気道特有の「基本技」と、その技を受けるための「受け身」を重点的に、個人のレベルに合わせて誰でもできるものです。

合気道は、相手と競うものではなく、自己の研鑽（けんさん）により技を高めるとともに心身を鍛えるものです。ですから対戦して勝負を決めるといった試合はありません。自分自身のために続けていくことは、精神面を鍛える心の武術となったり、受け身による有酸素運動で健康法の一つになったりします。先に競うものでないというところ、受け身が中心となることで護身術の要素があり、稽古を重ねることによって不利な状況でも、自分を守ることができるようになります。

新潟合気会加茂道場

加茂では、中学生の武



道合同授業で合気道を体験する生徒やそのような見学される方もいますが、なかなか目にする機会のないものだと思います。稽古は、毎週木曜日と第一・三土曜日の午後七時三十分から始まります。興味のある方の見学・体験はいつでもできます。

お問い合わせは、ホームページ

(<http://www.kamo-dojo.sakura.ne.jp>)

または道場長・近藤（ne.jp）

53・2433）へ。

デンタルリンス ～液体ハミガキ～



毎日しっかり歯みがきしているつもりでも、歯ブラシだけでは歯周病を含む歯垢（プラーク）を完全に除くのは困難です。特に毛先の届かない歯と歯のすき間や歯周ポケットといわれる歯と歯ぐきのすき間はなかなか手入れが行き届かないところで、口臭や歯周病の原因となってしまうのです。

普段の歯みがきとして、デンタルリンスと呼ばれる液体ハミガキを活用し、歯石の沈着や歯周病を予防する方も増えています。

歯垢は別名バイオフィームとも言われるネバネバした膜に覆われています。この中には様々な種類

の細菌が多数住みついており、この状態ではデンタルリンスの効果はなかなか発揮されません。基本的には、デンタルリンスとともに歯ブラシでこのバイオフィームをとり除くことをお勧めします。

近年、デンタルリンスも改良が加えられ、歯ぐきの血行を促し、炎症を抑える成分が入っていたり、また、殺菌効果や口臭の予防を期待できる成分が含まれているものもあります。

デンタルリンスを効果的に使用するには、適量を口に含み、二十〜三十秒間、歯と歯の間を通すようにすすぎ、歯ブラシでみがきまします。デンタルリンスと同時に歯みがきするとより効果的です。就寝中は唾液の分泌量が減り、口腔細菌の繁殖が盛んになりますので、就寝前に使用し、できるだけ細菌数を減らしておくことも効果的です。

人のよってはエタノールやメント成分の刺激が強すぎて、口内が荒れたり、痛みを感じたりすることがありますので、そのような場合はノンアルコールタイプや香料が控えめなものを選びましょう。

（加茂市歯科医師会）

馬越遺跡の鎌倉時代の井戸跡

生命の維持に欠かせない水の確保。人間の営みに最も必要なことは今も昔も変わらない。上水道の普及によって、その姿を消しつつあるが、地下水を利用する井戸が最近まで大きな役割を果たしてきた。

水場は定住生活を始めた縄文時代の早い段階の遺跡から確認されている。井戸の出現は弥生時代からとされ、稲作農耕文化への生活様式の変化が背景にあると考えられている。

加茂市内の遺跡からは奈良・平安時代と鎌倉時代の井戸跡が確認されている。ここで

は下条の馬越遺跡（C区・E区上層）で確認された鎌倉時代の井戸跡について紹介したい。

鎌倉時代の井戸跡は全部で八基が発掘された。井戸跡は建物跡の近くに設けら

れ、長さ約二十五mの調査区の中で七基がまとまって確認されている。すべて素掘りで、木枠や石組などはなかった。平面の形は方形・円形・楕円形のものがある。大きさは直径と深さともに一メートルほどである。断面の形は上面幅と下面幅がほとんど変わらない箱形である。

注目される点は、井戸跡の埋土の状況と出土した遺物である。埋土が自然に堆積すれば断面形は中央が弓なりのレンズ状になる。しかし、埋土が水平状に堆積しているところでは人為的に埋め戻し作業が行われたことが推測される。その埋め戻し作業の過程において埋土から漆器や箸、曲物などの木製品が出土する。珠洲焼、土師器や砥石なども出土しているが木製品が多い。写真に見える井戸からは、ほぼ完形の漆器椀が出土した。

これらは自然に入り込んだものではなく、意識的に納置されたものである。

馬越遺跡の井戸跡。直径は約一メートルある。



井戸には水神が宿るとされ、埋め戻しの儀式も中国思想の影響を受けているとされる。土層や遺物の出土状況を詳しく調査することによって、その背景にある精神的な社会の一端に迫れる。井戸跡は現代と過去をつなぐ貴重なタイムカプセルのひとつである。

（伊藤秀和）



冬鳥越スキーカーデンで開催された加茂菊花展では、駐車場側にも展示台がつけられ、国道を通る人々たちを楽しませてくれました。

人口のうごき	
11月1日現在	
世帯	10,276 (+ 5)
人口	29,709 (-30)
男	14,354 (- 7)
女	15,355 (-23)
()内は前月比	
(10月異動分)	
出生	17 (男10 女 7)
死亡	33 (男11 女22)
転出	59
転入	45